

◇スポーツ推進委員の活動や研修の紹介

24名の委員は、毎月第2火曜日は定例会議を行い、終了後随時研修会を行っています。県スポーツ推進委員研修会に参加し、スポーツイベントの支援活動等を行っています。



定例会議後の救命研修の様様

- ・親子ひびきあい活動（市内小学校）
- ・幼稚園PTA軽スポーツ活動（市内幼稚園）
- ・子育て支援事業（健康福祉センター）
- ・ワイワイサークル（障がい者スポーツ支援）
- ・YASUほほえみクラブ、さざなみスポーツクラブへの支援
- ・スポーツ推進委員研修会 ほか



当会活動の様様は
右のQRコードから
見ることができます。
是非アクセスしてね！



◇ニュースポーツ紹介：スローイングビンゴ

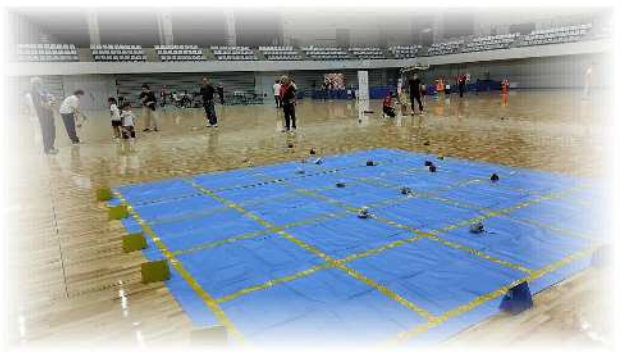
スローイングビンゴとは、平成10年に栗東市の体育指導委員さんによって考案されたニュースポーツで、その名のとおり、投げて楽しむビンゴです。

的となるシートの大きさは5m四方で、この中が25マスの方眼になっています。この方眼的に向かって砂の入った「サンドレット」という、てるてる坊主のような袋を投げ、縦、横、斜めのいずれかに5つ並べるゲームで、子どもから高齢者まで、室内外を問わず気軽にできるスポーツです。通常は3人対3人でゲームを行います。

ルールはいたって簡単です。まず、先攻チームがピュットという目標物を8m離れたスローイングサークルからコートに投げ入れます。続いて、サンドレットを先攻・後攻の順に1回ずつ交互に投げ入れます。これを繰り返して、縦、横、斜めのいずれかに5つ並んだら（ビンゴ）10点入り、その時点でそのセットは終了します。ビンゴの列の中に最初に投げたピュットが含まれている場合は、ボーナスポイントとして5点が追加されます。なお、両チーム12個あるサンドレットをすべて投げ終わってもビンゴが成立しない場合は、4個並んでいる状態（リーチ）があれば、リーチ1列につき3点が与えられます。

サンドレットは袋状で口をひもで縛ってあるので、投げ方や着地の仕方でも転がり方も変わり、偶発的な楽しさも味わえます。また仲間と協力しながらビンゴできた時の達成感も魅力のひとつです。

令和6年度からは各学区の体育振興会でも大会が開催される予定です。お楽しみに！



回覧

元気になる

読めば“お得な”情報誌

スポーツ推進委員だより

編集：野洲市スポーツ推進委員協議会 事務局：野洲市文化スポーツ推進課
電話：516-4568 FAX：587-6961

令和6年3月

◇会長あいさつ

野洲市スポーツ推進委員の活動

平素は、野洲市スポーツ推進委員の活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在野洲市のスポーツ推進委員は、市長から委嘱を受けた24名で活動しております。

ここに、令和5年度の『スポーツ推進委員だより』を発行し、活動の一端を紹介致します。



野洲市スポーツ推進委員協議会
会長 山本博一

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、社会活動やスポーツ活動もコロナ以前に近い状況まで戻ってまいりました。そのような中、昨年は、野球のWBC優勝に始まり、バスケットボールやバレーボール、ラグビーのワールドカップ等の世界大会があり、日本チームの活躍に感動し勇気や元気を受けた方も多かったと思います。

スポーツが私たちの生活や社会に活力を与える重要な価値を持っていることを再認識しました。今年は、パリでオリンピック・パラリンピックが開催されます。年初から、各競技でその出場を目指し熱い戦いが繰り広げられています。

また、来年2025年には、滋賀県のスポーツ界にとって最大の大会である第79回国民スポーツ大会と第24回全国障がい者スポーツ大会「湖国の感動未来へつなぐわた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025」が催されます。今年のリハーサル大会が開催されます。野洲市では、国スポの正式競技の「卓球全種別と成年女子バスケットボール」、公開競技の「武術太極拳」、障スポの「卓球」が野洲市総合体育館で開催されます。ラグビーは希望が丘文化公園で開催されます。また、デモンストレーション種目として、「マリンスポーツフェスティバル」と「スポーツ鬼ごっこ」も開催されます。スポーツの力で滋賀を元気にすべく関係者一丸となって準備していますので、皆さんと共に盛り上げていきたいと思っております。

私たちスポーツ推進委員は、地域スポーツのコーディネーターとして、だれもが、いつでも、気軽に参加できる多くのスポーツに触れ合う機会を提供し、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさや魅力を見つけ、幸福で豊かな生活を営むことができる共生社会実現のお手伝いをしてまいります。今後とも皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

◇2023 年度の活動紹介

第13回ニュースポーツバイキング 7月8日(土): 総合体育館
新体力テストを同時開催

**スローイングビンゴ、スポーツ鬼ごっこ、
ポッチャ、モルック、卓球バレー、
ストックウォーキング**

☆希望が丘文化公園の体験コーナー

リニューアルされた野洲市総合体育館において、恒例のニュースポーツバイキングが開催されました。

老若男女 47 名が参加され、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツを体験され、新体力テストを受けられました。

令和6年度は
10月5日開催
予定です。
皆さんの参加
をお待ちして
います!



全年齢: 握力・長座体前屈・長座体前屈
6歳～64歳: 反復横跳び・立ち幅跳び・20mシャトルラン
65歳以上: 開眼片足立ち・10m障害物歩行・6分歩行

第64回 全国スポーツ推進委員研究協議会・青森大会

令和5年11月17・18日

青森市内において『スポーツで煌めく笑顔のために～青い森から縄文の風に乗って全国へ～』をテーマで開催されました。コロナ禍から日常生活に戻りつつある中、スポーツ推進委員が地域の中での役割や解決すべき地域課題について2日間の研修をしました。

1日目の基調講演は、青森出身のオリンピックマラソン選手の福土加代子さんが「笑って走れば福来たる」をテーマに、トレードマークでもある笑顔で走り続けてきたこと、走れるようになったのは高校時代の恩師を初め、さまざまな人たちのアドバイスや見守り、協力などの支えがあったからこそ笑顔でいる大切さを学んだそうです。「何でもいいので経験してほしい。見ているのとやるのでは大違い。実体験が大切」と、ユーモアたっぷりに講演されました。

2日目は二つの分科会に分かれての研修で、私は「地域とスポーツがつながるために」の分科会に参加しました。今年度の全国高校サッカー選手権大会で優勝された青森山田高校の正木監督、高校野球甲子園の常連校・八戸学院光星高校の仲井監督など大勢の部員を抱えておられる先生方の生徒への指導、そして何より地域との連携・協力があるからこそ強くなれる秘訣であり必須だと話されていました。

この研修会において、全国功労者表彰をいただきました。永年スポーツ推進委員として活動してこられたのは、推進委員の皆さんの協力や家族の理解があってこそと感謝しています。

市民の皆さんの健康推進のため生涯スポーツ普及はもちろんですがそれぞれの思いを生かし魅力ある活動を今後もしていきたいと思っています。

野洲市スポーツ推進委員 松並 典子



第17回 スtockウォーキング 11月23日(木・祝)

近江富士花緑公園～希望が丘文化公園

紅葉し始めた近江富士花緑公園を出発して、希望が丘文化公園の中を初級の5kmと、上級の7kmのコースに分かれストックを使って歩きました。



令和6年度も11月23日開催予定です。
皆さんの参加をお待ちしています!

湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ 2025

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

第79回国民スポーツ大会、第24回全国障害者スポーツ大会が2025年に滋賀県で開催されます。

野洲市での開催競技は、国スポの正式競技として、卓球、ラグビーフットボール、バスケットボール(成年女子)が行われます。また公開競技として武術太極拳も行われます。障スポの正式競技としては、卓球、サウンドテーブルテニスが行われます。県民誰もが参加できる「デモンストレーションスポーツ」として、スポーツ鬼ごっこ、マリンスポーツフェスティバルも開催されます。詳しくは右上のQRコードからご確認ください。

